

関東大学女子サッカーの歴史と展望

A study of the history and the prospect about KANTO UNIVERSITY WOMEN FOOTBALL ASSOCIATION

1K10C260-8 千葉望愛

主査石井 昌幸先生

副査倉石 平先生

【はじめに】

筆者は小学3年生ごろから現在に至るまでサッカーを14年間続けてきた。女子サッカーとの出会いは中学生になってからで、それまでは少年団で男子と一緒にサッカーをしていた。そのころ、女子だけのサッカーチームは限られた数しかなかった。2011年のドイツワールドカップでなでしこジャパン(女子日本代表)が世界一になり、なでしこジャパンを知らない人はいなくなっただろう。しかし、その中で大学の女子サッカーリーグがあることを知っている人は何人いるだろうか。筆者自身も、高校3年生の大学進学を考えるまでは知らなかった。早稲田大学に入学し、体育会ア式蹴球部女子部に入部したことで、関東大学女子サッカーリーグの存在を知り、このリーグは関東大学女子サッカー連盟という組織の元、選手自らの手で運営が行われていることを知った。大学4年間、このリーグに携われたことや、大学2年から3年の2年間、筆者も実際にリーグの運営を行ったことで、もっと多くの人に大学女子サッカーの存在を知ってもらいたいと考えようになった。そのため、この機会に筆者自身も関東大学女子サッカーリーグの歴史について理解したうえで、大学女子サッカーの魅力を伝えていきたいと考え、研究してみようと思うに至った。

【一章】

第一章では日本女子サッカーの歴史について述べる。1924年に撮影されたとみられる写真が日本女子サッカーの最古の記録といわれている。その後、1996年日本初女子サッカークラブが兵庫県神戸市で誕生した。そして、神戸女学院の中学部3年生によって女子サッカー部も作られた。1979年に日本女子サッカー連盟が設立し、日本サッカー協会が女子サッカーを女子競技として公認した。1980年から第1回全日本女子サッカー選手権大会(現皇后杯全日本女子サッカー選手権大会)が開催され、次々にリーグや全国大会が開催されていく。1981年には日本女子代表チームが正式に組織された。2004年のアテネオリンピック出場を機に「なでしこジャパン」という愛称がついた。な2011年でしこジャパンがドイツワールドカップで見事世界一になるが、それまでの苦難の時代についても触れている。

【二章】

第二章では、関東大学女子サッカーの歴史について述べる。全国地域を統括する「全日本大学女子サッカー連盟」について、全国で大学のチーム数はどのくらいあるのか、どのくらいの人数がいるのか。全日本大学女子サッカー連盟のひとつである「関東大学女子サッカー連盟」とは何か。どのように設立されて、具体的にどのような活動をしているか、について述べている。また関東大学女子サッカーリーグを第1回から第27回までのパンフレットを載せ、リーグ、チーム、優勝チームはどのように変化してきたか大学女子サッカーの始めから現在までを追う。



【三章】

第三章では、大学女子サッカーの現状について述べる。関東大学女子サッカーリーグ戦のパンフレットをもとに各大学関東大学女子サッカー連盟登録チーム数、登録選手のサッカー歴の変化についてグラフにまとめ比較してみている。関東大学女子サッカー連盟出身者のなでしこジャパンや指導者で活躍している人を記載している。

【おわりに】

おわりにでは、女子サッカーの歴史、大学女子サッカーの歴史についての振り返り、それをもとに大学女子サッカーの展望について考える。大学女子サッカーが普及してきているにも関わらず注目されない理由について、その中で、女子サッカー全体の問題、大学女子サッカーをするにあたっての問題点や利点について、今後大学女子サッカーがどのような意味を持てばよいのかについて考える。